

研究分野	人文社会科学
キーワード	難病、口腔がん、地域包括ケア、その人らしさ、連携

## 病とともにその人らしく生きるための支援

福祉社会科学研究科 <http://www.oita-u.ac.jp/>  
教授 隅田 好美 (Sumida Yoshimi)

### 研究概要

#### (1) 難病患者への支援

自分の意思で身体を動かすことができなくなる難病（ALS）患者の「病いとともにその人らしく生きるための支援」について研究しています。特に、病状告知後の精神的支援から、人工呼吸器を装着するかしないか自己決定するときの支援を中心に研究しています。さらに、患者が求める支援と専門職が必要と考える支援の「ズレ」について研究しています。

#### (2) 医療ソーシャルワーカーと歯科衛生士の視点からの生活支援

口腔がん患者への心理・社会的支援について歯科衛生士と社会福祉の立場から研究しています。また、がん終末期や難病患者、寝たきりの高齢者の口腔ケアの意義について、社会福祉士の視点から考えてきました。現在は、主に口腔がん患者の生活を支える視点で研究しています。

#### (3) 口腔から考える健康長寿

オーラルフレイル（口腔機能低下症）と認知症、生活習慣病、ソーシャルキャピタル（地域のつながり）の関連について研究を進めています。

### アピールポイント（技術・特許・ノウハウ等）

- ・「よくわかる地域包括ケア」（ミネルバ書房）の編集を行っています。社会福祉や医療職の学生が使用できる内容を目指しています。
- ・「歯科衛生士の質的研究—患者に寄り添う支援のために」（医歯薬出版）を単著で出版しました。
- ・福祉職や住民に対し、介護予防や誤嚥性肺炎の予防など口腔機能、口腔ケア、食事介助などの研修を行ってきました。
- ・新潟県難病相談支援センターの立ち上げに関わり、開設後は研修や集計を担当していました。また、患者会の希望でピアサポートの研修を継続的に行っていました。

### 応用可能な分野

- (1) 筋萎縮性側索硬化症(ALS)とともにその人らしく生きるための支援。
- (2) 地域や病院における他職種連携（地域包括ケアを含む）
- (3) ピアサポート研修
- (4) 口腔がん患者への心理・社会的支援と医療チームの構築
- (5) 口腔から考える認知症予防、健康長寿